

## 請願第 2 号

### スクールゾーンの舗装標示に関する請願

- 1 受理年月日 平成28年4月4日
- 2 請願者 立川市栄町1-26-10  
第二団地自治会  
会長 川船 浩右 外882名
- 3 紹介議員 太田 光久、上條 彰一、谷山きょう子 伊藤幸秀 佐藤寿宏

#### 4 請願の要旨

最近の交通量増加に伴い、子どもたちの通学時における交通事故の危険が高まっていることから交通事故防止等交通安全のため、立川市栄町一丁目30番16号から同一丁目7番52号の北側に面している道路を7:30から8:30の時間帯において、スクールゾーンとして舗装標示していただきたい。

#### 5 請願の理由

立川市栄町一丁目34番10号から同一丁目7番52号の北側に面している道路は、住民にとって重要な生活道路となっておりますが、近年では弁天通りから立川方面に抜ける自動車の通行量が増えてきており、自治会及びPTAとして交通安全対策など課題認識しているところでございます。特に朝の通学時間においては自動車の通行と子どもの通学が重なることから、交通事故がいつ起こるとも分からない危険な状態となっております。

この道路は車両の相互通行が困難な道幅が狭い道路である上に、交差点での見通しが悪く、また速度を落とさずに通行する自動車が多いことから過去に何度か物損事故を起こしています。これまでは地域ボランティアの方々による献身的な見守りにより、幸いにも子ども達への大きな人身事故は起こってませんが、それも限界にきており今後は周辺住宅の新築並びに移住する子どもたちの増加に伴い、さらなる自動車の交通量増加と非常に高い事故リスクが想定されます。

スクールゾーンの舗装標示をして自動車の通行を規制することにより、弁天通りから立川方面へ自動車が通り抜けを抑制し、結果として子どもたちが安心して通学できる環境構築が実現できます。ここの周辺町内居住者の署名をもって請願いたします。